

平成 29 年度 春日井市いじめ・不登校対策協議会事業計画

1 平成 29 年度いじめ・不登校対策委員会事業計画

ア 関係機関との連携協力による教育活動

(ア) 相談機関との連絡会

- いじめ・不登校相談室、適応指導教室との情報交換
相談内容：適応指導教室の現状に関わること

イ 春日井市教職員研修委員会、校内現職教育による教員研修

(ア) いじめ・不登校事例研究会

- 実施日 平成 29 年 9 月 6 日 (水)
- 内 容 事例種別ごとに各校のいじめ・不登校指導事例の経過・成果・問題点を話し合う。
- 参加者 教員、適応指導教室指導員、スクールカウンセラー等

(イ) 不登校をテーマにした教育講演会

- 実施日 平成 29 年 11 月 10 日 (金)
- 講 師 未定
- 演 題 未定 (不登校対策に関わるテーマで)
- 参加者 教員

(ウ) カウンセリング技術向上研修会 (含 初任者研修)

- 実施日 平成 30 年 1 月 17 日 (水)
- 講 師 杉原 里子 氏 (春日井市スクールソーシャルワーカー)
- テ ー マ 「ソーシャルワークで生徒理解」
- 参加者 教員

(エ) 夏期教職員研修

① カウンセリング研修

- 実施日 平成 29 年 8 月 3 日 (木)
- 講 師 神戸 康彦 氏 (産業カウンセラー)
- 内 容 子どもや保護者とのよりよい交流を目指しての傾聴技術
- 参加者 教員

② Q-U 講座

- 実施日 平成 29 年 8 月 4 日 (金)
- 講 師 山脇 眞弓 氏 (名古屋柳城短期大学 准教授)
- 内 容 Q-U を使用してのさらなる児童生徒理解について
- 参加者 教員

別紙

(オ) 校内現職教育における研修

(カ) 校内いじめ・不登校対策委員会の定期的開催

2 小・中学校へのスクールカウンセラー・心の教室相談員の派遣について

ア スクールカウンセラー

8名のスクールカウンセラーを派遣要望のあった小中学校に派遣し、児童生徒・保護者・教職員に対するカウンセリングと教育活動への支援・助言を行う。

(ア) 派遣校数 小学校：23校 中学校：13校

(イ) 相談時間 各校年間 48時間～144時間

(ウ) 支援活動

校内現職委員会での研修会、いじめ・不登校対策委員会委員就任、事例研究会に対する助言

イ 心の教室相談員

市内全部の小学校に派遣し、児童の悩み相談、話し相手として相談活動の充実と学校の教育活動への支援を行う。

(ア) 派遣回数

心の教室相談員：週 12時間程度（週 2～3回程度）

(イ) 相談内容

友人関係、家庭、学校、いじめ、不登校

(ウ) 支援活動

別室登校の児童の相談、学校の教育活動支援

3 相談室「ひまわり」 発達障害相談 教育研究所相談室

月 3回、1回につき 3人程度

※ 臨床心理士 2名、小児科医 1名による相談を実施。

4 平成 29 年度事業

県事業「スクールカウンセラー派遣事業」（継続）

○ 市内小学校 10校、中学校 15校へ派遣。小学校は拠点校方式として他の小学校の相談にも応じる。